

地域の未来を拓くアントレプレナーシップ教育

石原 佑(徳島大学 高等教育研究センター 学修支援部門 特任助教)
佐野 淳也(神山まるごと高等専門学校 デザインエンジニアリング学科 准教授/
徳島大学 人と地域共創センター 客員准教授)
廣瀬 智子(神山まるごと高等専門学校 デザインエンジニアリング学科 講師(英語))
付 媛媛(神山まるごと高等専門学校 デザインエンジニアリング学科 3年生)
濱上 隆道(富士通株式会社 CEO 室シニアマネージャー/神山まるごと高専協働
推進担当)

講師略歴

【石原 佑】1991年、徳島県生まれ。専門はアントレプレナーシップ教育/デザイン学。東京造形大学造形学部デザイン学科卒業。在学時はデザインの未来を担う「金の卵」を一堂に紹介する「アクシス第7回 “金の卵” オールスターデザインショーケース」などに選出される。その後10年間ほど、フリーランスデザイナーとして東京、北米を拠点に分野問わず活動を行う。2020年にはデザインコンサルティング会社、株式会社 BLUE を設立する。2022年には特定非営利活動法人 Arts Shikoku の代表理事に就任し、中四国地方の芸術家支援に取り組む。2019年度より行なってきた徳島大学発スタートアップスタジオ U-tera での起業家支援の取り組みを本格化するため、2022年より徳島大学高等教育研究センターにて特任助教に着任。

【佐野 淳也】1971年、徳島市生まれ。一橋大学大学院社会学研究科修了(社会学修士)、法政大学大学院公共政策研究科博士後期課程満期退学、博士(ソーシャル・イノベーション/同志社大学2020)。立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科特任准教授、同志社大学政策学部准教授など経て2023年より現職。神山まるごと高専では、社会共生と地域共創を学ぶ「ネイバーフッド概論/演習」を担当。これまで NPO 論やまちづくり、ワークショップデザインなどの科目を多くの大学で教えてきた。「創造的人口減少を可能にするまちづくり生態系」と「社会的包摂を進めるブレンディングコミュニティ型地域の居場所」が最近の研究テーマ。共著に「ソーシャル・イノベーションの理論と実践」(明石書店)、「はじめてのファシリテーション」(昭和堂)ほか。

プログラム概要

アントレプレナーシップ教育は、日本においては「起業家を育てる教育」と捉えられがちですが、実際には起業家の持つチャレンジ精神や創造性、またリーダーシップやコミュニケーション力といった「起業家的思考行動特性」を身に着け、幅広く人生やキャリアに活かしていくための教育実践であり、いわば全ての教育現場において求められているものだと言えます。

本プログラムでは、こうしたアントレプレナーシップ教育を高等教育の現場でどのように展開し、また地域の未来を拓く人材を育成していけるのか、徳島大学スタートアップスタジオ U-tera の実践、そして2023年に新たに開校した神山まるごと高専の地域及び企業との連携実践事例をご紹介した上で、参加者の皆様と探究していきます。さらにフィンランドで行われているホリスティック・アントレプレナーシップ教育の実践とその理念についても紹介し、四国地区ははじめ全国の高等教育現場にどのように応用していけるのかを考えます。

プログラム前半においてこうしたアントレプレナーシップ教育の基本理念と講師による実践事例を共有し、後半では「どのようにアントレプレナーシップ教育を実践し、それによって地域の未来はどう拓かれるのか？」の問いのもと、参加者の皆様全体でグループワークを行い、対話によって深めま

す。

準備物・事前課題

すでに何らかのアントレプレナーシップ教育を実践されている場合は、グループワーク時において他の参加者に見せることのできる資料(パンフレット/報告書/ウェブサイトなど)を可能な範囲でお持ちいただくと幸いです。

主な受講対象者

・アントレプレナーシップ教育や地域連携教育に興味関心のある方、またすでに実践されている方であればどなたでも歓迎です!ぜひ一緒に対話いたしましょう!

到達目標

1. アントレプレナーシップ教育の基本理念や概要について説明することができる。
2. アントレプレナーシップ教育実践の具体事例の概要について説明することができる。
3. 「どのようにアントレプレナーシップ教育を実践し、それによって地域の未来はどう拓かれるのか?」という問いに対し、自分なりの仮説や解答を提示することができる。
4. 自分の所属先の教育機関において、「地域の未来を拓くアントレプレナーシップ教育」をどのように実践していくのか、そのイメージや方向性を見出すことができる。